## 2011 年度 小委員会活動成果報告

(2012年2月6日作成)

	(2012 中 2 万 6 日 下)次/	
小委員会名	パイルドラフト基礎の設計法検討小委員会	主 査 名:土屋 勉 就任年月:2009年4月
所属本委員会	構造委員会	委員長名:中島正愛
(所属運営委員会)	基礎構造運営委員会	主 査 名:中井正一
設置期間	2009年4月~2012年3月	
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	・基礎指針改定を見据えたパイルド・ラフト基礎の設計方法の検討 ・1年目:現行指針の課題とパイルド・ラフト基礎に関する現状把握 ・2年目:簡易法を中心とした具体の設計方法の検討 ・3年目:パイルド・ラフト基礎の設計法の提案(PD開催・成果の論文投稿)	
	委員公募の有無:無	
委員構成 (委員名(所属))	主査:土屋 勉(室蘭工大) 幹事:長尾俊昌(大成建設) 委員:山本春行(広島大)、山崎雅弘(岡山理科大)、松尾雅夫(安井建築設計)、 山下 清(竹中工務店)、金子 治(戸田建設)、眞野英之(清水建設)、 佐原 守(大林組)	
設置 WG (WG 名:目的)	・パイルド・ラフト基礎の設計法(鉛直) WG:パイルド・ラフト基礎の鉛直問題 (支持力・沈下) に関する設計法の検討。 ・パイルド・ラフト基礎の設計法(水平) WG:パイルド・ラフト基礎の水平抵抗 に関する設計法の検討。	
2011 年度予算	570,000 円 ホームページ公開の有無:無 委員会 HP アドレス:無	

項目	自己評価	
委員会開催数	8回(年度内計画を含む)	
刊行物 (シンポジウム資料等は除 く)		
講習会		
催し物 (シンポジウム・セミナ ー・研究会・見学会等)		
大会研究集会	1. PD「パイルド・ラフト基礎設計の現状と課題」 参加者数 165名	
対外的意見表明・パブ リックコメント等		
目標の達成度 (当初の活動計画と得られ た成果との関係)	1.5回の活動計画に対し8回開催 2.2011年大会でのPD(パイルド・ラフト基礎設計の現状と課題)開催 3.小委員会の活動成果として論文投稿の準備中 今年度はPDを担当したこともあって、開催数が増えると共にPD資料作成等 の具体的な成果が得られたが、設計法の提案までには至らなかった.	
委員会活動の問題点 ・課題	次期の基礎指針改定に向けて、パイルド・ラフト設計の資料を整備することを 目的として検討を続ける。	